

麻しん・風しん対策への 取組状況

第3回麻しん・風しん対策推進会議
平成29年7月27日

厚生労働省 健康局
結核感染症課・健康課 予防接種室

麻疹について

麻疹の概要

- ①症状 : 38度前後の発熱(二峰性)、上気道症状・結膜炎症状などのカタル症状、発疹。
- ②合併症 : 肺炎、中耳炎、脳炎(1,000例に1例)
- ③潜伏期間 : 10~12日間
- ④感染経路 : 空気感染。感染力が非常に強い。
- ⑤治療・予防 : 対症療法のみ。ワクチンが有効。(2回の定期予防接種の対象)

常時実施している対策

○定期の予防接種の積極的な勧奨

平成28年度 2才以上の抗体保有率(1:16以上):
95%以上

○普及啓発

麻疹に関する正しい知識の情報提供。
麻疹の感染力を鑑みた院内感染対策の周知。

○サーベイランスと患者発生時の対応

- ・平成20年以降、全数把握疾患
- ・全例疫学調査、遺伝子型の検査を実施。
- ・接触者に対しては、健康観察を実施。

麻疹の排除状態について

平成27年3月27日、WHOにより、日本は排除状態*にあると認定された。

*適切なサーベイランス制度の下、土着株による麻疹の感染が3年間確認されないこと、又は遺伝子型の解析によりそのことが示唆されること。

【麻疹の発生報告数の年次推移(平成29年度6月28日現在までの状況)】

年度	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
報告数	11,005	741	447	439	283	229	462	35	159	162

麻しんに関する特定感染症予防指針(概要)

平成19年12月28日公布(平成28年2月3日一部改正・平成28年4月1日適用)

○目標

- ・平成27年度までに麻しんの排除を達成し、世界保健機関による麻しんの排除の認定
- ・麻しんの排除の状態を維持

○届出・検査・相談体制の充実

- ・可能な限り、診断後24時間以内に臨床診断としての届出
- ・血清IgM抗体検査等の血清抗体価の測定の実施及びウイルス遺伝子検査用の検体の提出
- ・麻しんではないと判断された場合には届出の変更や取下げを求めることとする。
- ・可能な限り、国立感染症研究所等において、遺伝子配列の解析を行う
- ・都道府県等:麻しん対策の会議を設置した上で、地域における施策の進捗状況を評価するものとし、必要に応じて、関係団体と連携して、麻しんの診断等に関する助言を行うアドバイザー制度の設置を検討するものとする。

○第1期及び第2期の定期接種の接種率目標(95%以上)の達成・維持

- ・市町村、文部科学省、その他関係機関等と連携し、第1期及び第2期の接種率目標の達成と維持を行う。

○予防接種法に基づかない予防接種の推奨

- ・医療関係者、児童福祉施設等の職員、学校等の職員等に大使、予防接種の推奨を行う必要がある。

○その他必要な措置

国内外の麻しんの発生状況や予防接種について情報提供を行うと共に、国土交通省に協力を求め、旅行会社等に対し、外国へ渡航する者に、これらの情報提供を行うよう依頼するものとする。

風しんについて

風しんの概要

- ① 症状：発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とする。無症状～重篤な合併症併発まで幅広い。
- ② 合併症：血小板減少性紫斑病(1/3,000～5,000)、急性脳炎(1/4,000～6,000)、関節炎など
妊娠中の女性が感染すると児に先天性風しん症候群(CRS)が出現
- ③ 潜伏期間：14～21日間
- ④ 感染経路：飛沫感染。感染力が強い。
- ⑤ 治療・予防：対症療法のみ。ワクチンが有効。(2回の定期予防接種の対象)

先天性風しん症候群(CRS)とは

風しんに対して免疫のない女性が妊娠初期に罹患した場合に出生児に引き起こされる障害。先天性心疾患、難聴、白内障が三大症状。他、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など多岐にわたる。

風しん対策の概要

「風しんに関する特定感染症予防指針」(平成26年厚生労働省告示第442号)

- 目標: CRSの発生をなくすとともに、2020年までに風しんの排除を達成する。
- 定期予防接種の実施: 定期接種率の目標をそれぞれ95%以上とする。(平成27年度: 第1期 96.2%、第2期 92.9%)
- 成人に対する抗体検査・予防接種の推奨: 普及啓発、自治体に対する抗体検査補助事業を実施。
- 自治体に対する技術支援: 風しん発生手順の手引き等を作成し、自治体に配布。
- 麻しん・風しん対策推進会議の開催: 施策の実施状況に関する評価、必要に応じた当該施策の見直し。

風しん報告

【風しんとCRSの発生報告数の年次推移(平成29年度7月5日現在までの状況)】

年(平成)	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
風しん	87	378	2386	14344	319	163	125	47
CRS	0	1	4	32	9	0	0	0

風しんに関する特定感染症予防指針(概要)

平成26年3月28日公布(平成26年4月1日適用)

○目標

早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成32年度までに風しんの排除を達成することを目標とする。

○定期予防接種の接種率目標(95%以上)の達成・維持

風しんの定期接種(1歳児、小学校入学1年前の2回)の接種率をそれぞれ95%以上とする。

○成人に対する抗体検査・予防接種の推奨

企業等と連携し、雇用時等の様々な機会を利用して、従業員等が罹患歴又は接種歴を確認できるようにするとともに、いずれも確認できないものに対して、抗体検査や予防接種を推奨する。

(注)平成26年度については、検査費用の助成を実施(平成25年度補正予算 約12億円)

○先天性風しん症候群の児への医療等の提供

日本医師会や関係学会等と連携し、先天性風しん症候群と診断された児が症状に応じた適切な医療や支援制度を受けられるよう、情報提供及び制度のより適切な運用等を行う。

ワクチンの需給状況

麻しん及び風しん含有ワクチンの販社による医療機関納入実績及び定期接種実施者数
平成24年度まで定期接種として3期、4期接種を実施

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
MR + M	A. 医療機関納入実績	4,248,800	3,362,587	2,267,636	2,273,139	2,449,741
	B. 定期接種実施者数	4,161,124	2,028,342	2,141,813	1,987,093	(1,999,198) [※]
MR + R	A. 医療機関納入実績	4,321,896	3,372,840	2,316,108	2,331,312	2,503,601
	B. 定期接種実施者数	4,162,958	2,028,316	2,141,713	1,987,070	(1,999,283) [※]
麻しん1期接種率		97.5%	95.5%	96.4%	96.2%	(97.2%) [※]
麻しん2期接種率		93.7%	93.0%	93.3%	92.9%	(93.1%) [※]
風しん1期接種率		97.5%	95.5%	96.4%	96.2%	(97.2%) [※]
風しん2期接種率		93.7%	93.0%	93.3%	92.9%	(93.1%) [※]

MR: 麻しん風しん混合ワクチン M: 麻しんワクチン R: 風しんワクチン
※平成28年度の定期接種実施者数、接種率については暫定値

普及啓発および広報活動 麻しん



- 厚生労働省ウェブサイトのデザイン変更
- 英語翻訳サイト作成
- 予防接種の啓発ポスター作成

＜お知らせ＞

**麻しん（はしか）は
ワクチン接種が予防に有効です！**

麻しんは、麻しんウイルスが感染して起こる感染症で、発熱や発疹などが主な症状です。麻しんは感染力が強く、空気感染をします。日頃から麻しんのワクチン（一般的にはMRワクチン）を接種していることが、予防にも有効です。

定期接種を受けましょう！

【定期接種を受けよう！】

- ワクチンを1回接種することで、95%以上の人が麻しんに対する免疫がつかると言われています。
- 確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつかると言われる2回の接種が必要です。
- 接種後は、母子健康手帳で確認できます。

【ワクチンを接種した方がいい？】

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。期間内に接種することを積極的にお勧めします。
- 過去に麻しんと診断され、検査で確認されたことがある方は、免疫がついていると考えられることから、ワクチンを接種する必要はありません。
- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

【以下、特にご注意ください】

- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方で、麻しん患者と接触し、1〜2週間（約10日間）経ってから発熱、せき、のどの痛み、眼が赤くなるなどの症状が出た場合は、麻しんの可能性がります。麻しんの可能性がある者、事前に医療機関へ連絡してから受診するようにください。





風しんの抗体検査事業について

1. 背景

平成25年の風しんの流行により、14,000人以上の風しん患者と45人の先天性風しん症候群(※)患者が報告された。

※ 風しんウイルスの胎内感染によって先天異常を起こす感染症

2. 目的

予防接種が必要である者を抽出するための抗体検査や情報提供を行うことにより、効果的な予防接種を実施し、風しんの感染予防やまん防止を図る。

3. 内容

風しん予防の普及啓発活動を実施し、風しん抗体検査を受検していただく。

主として妊娠を希望する女性に対する
風しん抗体検査費用の助成

予防接種(任意接種)
の実施

風しん患者
全体の減少

平成27年度に約10万名の検査実施実績、特定感染症検査等事業として事業継続

普及啓発および広報活動 風しん

クリス・ハート氏とのコラボレーション

厚生労働省
お父さん、お母さんへ

お子さんの
風しん
ワクチンは
2回。

歌手 クリス・ハート

きみが大好きだから、ワクチン接種で風しんから守りたい。
2回のワクチン接種は、お子さんの風しん感染の予防と、
周囲への感染拡大を防ぐことにつながります。

MRワクチン(麻疹風しん混合)の定期接種を受けましょう。
7割の接種率を掲げることで、より確実に風しんを予防することができます。

お問合せ先
厚生労働省 TEL.03-5276-9337
感染症・予防接種 相談窓口

風しんについて詳しくはこちら ▶

Q 風しん 厚生労働省 検索

ライブツアー来訪客約20,000名に
リーフレット配布

厚生労働省内での弾き語りイベント

ポスター(A2、3,000部)とチラシ(A4、
51,330部)を全国の自治体・関係団体に
配布